



ウイルス性肝炎 Q&A



Q1 検査を受けるには?

【どんな検査?】

肝炎ウイルスに感染しているかどうかは、**血液検査**で判断します。
採血は短時間で済み、また、検査結果は数週間でお知らせできます。
※感染後は3か月ほどたたないと、陽性にならないこともあります。

【どこで受けられるの?】

検査を受診する機会としては、以下のようなものがあります。

- ・お住まいの**市町村**での検診
- ・お近くの**保健所**、**県指定医療機関**での肝炎ウイルス検査

※実施日程や費用などは、それぞれの**実施主体**によって異なりますので、別途お問い合わせください。

Q2 感染が分かったら?

肝炎ウイルスに感染していたとしても、肝臓の状態は人によってまちまちです。まずは、専門医に相談してみましょう。

〈主な治療方法について〉

- インターフェロンは、免疫系・炎症の調節等に作用して効果を発揮する薬剤で、ウイルス性肝炎を根治することができるものです。
- B型肝炎の場合は約3割、C型肝炎の場合は約5～9割の人が治療効果を期待できます。
- 核酸アナログ製剤は、B型肝炎ウイルスのDNA合成を阻害する作用がある薬剤で、ウイルスの増殖抑制の効果があります。

※治療効果は、遺伝子型、ウイルス量などによって異なります。

Q3 医療費助成制度とは?

国と県では、肝炎の有力な治療法であるインターフェロン治療や核酸アナログ製剤治療に係る医療費について、あなたの負担額を軽減する助成を行っています。助成の対象となるのは

**B型又はC型肝炎のインターフェロン治療及び
B型肝炎の核酸アナログ製剤治療**です。

あなたの世帯の所得に応じて、月当たりの医療費を軽減します。
詳しくは、疾病・感染症対策室又はお近くの保健所にお問い合わせください。